

連載第48回

「カラボギャラリー」見学報告(第2回)

桑山 哲郎

“Col.lab Gallery” 2nd tour report

Tetsuro KUWAYAMA



東京工芸大学厚木キャンパスのカラボギャラリーについては以前、見学の報告を行いました¹⁾。その後も精力的に興味深い企画展が開催されていますが、なかでも今回の第9回企画展『光が伝わる、光で伝える』はwebサイトの情報²⁾から興味深い内容であることが分かり、さっそく見学することにしました。Fig.1は、カラボギャラリーの案内看板です。

入場し、完成度の高い展示に感心するとともに、少し困りました。色の見え方の分類には表面色、開口色に加えて発光知覚色ほか、いろいろあります。今回の展示は特にいろいろな色の見え方を体験するのに適していると思います。最初の展示室は計算された暗さの空間で、いろいろな色の光が目に入ってきます。この展示内容を印刷あるいはディスプレイ画面で光の色の見え方を伝えるのは困難なので、なんとか伝わりそうな一部だけをご紹介します。最初に出会う作品(Fig.2)は全反射と拡散反射を用いていますが、オブジェ自体が発光しているように見えます。続いてFig.3再帰反射素材では、ス

マートフォンのLEDで一部を照らすと美しい反射光が生じるのですが、説明のため全体を照らすと、その魅力が失われてしまいます。

見学者が参加できる展示が多いことも、今回の特徴です。Fig.4では振り子の先端のレーザーの光が蓄光シートに入射し、鮮やかな色のリサージュ図形が描かれます。またFig.5の蛍光灯では、触る部分を光が追いかけます。他の作品については説明しきれませんのでwebサイトをご参照ください。また作品に続き、カラー・リサーチ・ラボとして6件の研究成果が展示されています。展示方法は大変工夫されていて、内容の理解を助けます。プロジェクションマッピングを用いた説明を加えたFig.6だけの紹介で失礼させていただきます。今回の展示はどれも力作揃いで、会期が終了すると見るができなくなるのは大変残念です。今後も観賞できる機会を設けていただければと思います。[会期:2022年6月27日~10月28日]

参考文献

- 1) 桑山哲郎, 連載第38回「カラボギャラリー」見学報告, 日本色彩学会誌, 第44巻第6号, p. 246 (2020).
- 2) カラボギャラリー第9回企画展 webサイト <https://collab.t-kougei.ac.jp/9th-exhibition/>

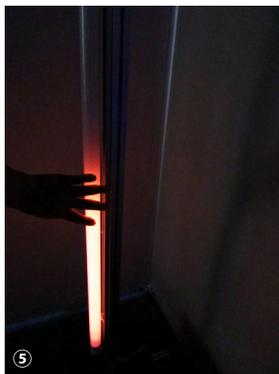


Fig.1 カラボギャラリーの案内看板 (2022年7月21日 筆者撮影 以下同じ)

Fig.2 「LEDで光るアクリルパネルと全反射・拡散反射のしくみ」中島 武三志

Fig.3 「フラッシュ撮影で美しく輝くステージ衣装と再帰反射のしくみ」埴 麻莉奈

Fig.4 「蓄光シートに描かれるレーザー振り子の軌跡と蓄光のしくみ」美田 翼

Fig.5 「触れると光る蛍光灯と蛍光のしくみ」美田 翼

Fig.6 「フォトグラメトリを元に紙で創るフルカラー3Dプリント」代表:内田 孝幸